

TAC「実務補習の世界」資料

TAC 中小企業診断士講座専任講師・実務補習指導員・中小企業診断士 高久 広

（１）実務補習とは

①実務補習の位置付け

- ・ 2次試験に合格後、3年以内に実務補習を15日以上受けるか、診断実務に15日以上従事することにより、中小企業診断士の登録ができる。実務補習は最も効果的な手段の一つ！
- ・ 指導員のもと、5～6人のグループで5日間に1社を企業診断する

②特徴

- ・ 受講生の大半が当年度の2次試験の合格者であり、目的意識やレベル感などが同類である
- ・ 企業の一部を診断するのではなく、経営全般を多面的にチームで診断する
- ・ 幅広く効果的な診断経験を積むために、15日で3社という仕組みとなっている
- ・ 実務補習の進め方は自主性を尊重するものの、経験豊富な指導員のもと適切な実務を行う
- ・ 補習という位置付けではあるが、対象企業の役に立つための診断を本気で成し遂げる

③実務補習5日間の概要

- ・ 無理のない日程を選択して申し込む（5日間コースと15日間コース）
- ・ 5日間コースは、7月、8月、9月にもある。翌年の2月の受講も可能
- ・ 1週間前に指導員からメールなどで連絡が入る（2013.1/23頃）。メールに注意！

④平成25年2月実施「5日間コース」の例

- ・ 初日 1/31 木 オリエンテーション（例年東京地区は日本教育会館） → 班ごと打合せ
企業へ訪問（ヒアリング）、役割分担および今後の進め方、方向性について協議

- ・ 2日目 2/1 金 終日ミーティング。方向性の取決めなど（必要に応じて調査分析、再ヒアリング）

※自主診断期間（中8日）。ここが勝負どころ！各自8合目まで仕上げる！

- ・ 3日目 2/10 日 摺り合わせ、各役割担当の内容の相互チェック、全体調整

- ・ 4日目 2/11 月 調査票および報告書の最終チェック、夕方から印刷製本準備へ

- ・ 5日目 2/12 火 リハを経て企業へ訪問し報告会。その後、診断協会へ報告書等提出（逆もあり）
（祝）

（２）実務補習の心構え

①注意事項

- ・実務補習テキストや受講心得などに目を通し、充実した実務補習となるように準備を徹底する
- ・中小企業診断士倫理規定を遵守する（直接触 NG、服装や態度、個人の情報など）
- ・守秘義務の徹底（ブログ、FB 等の記載 NG）
- ・グループ行動、チームワーク、協力・協調、思いやりの精神必須
- ・すべて決められた必要項目、様式、書式のとおりに報告書を作成する
- ・診断先企業の問題解決、課題達成、成長発展を究極の目的とする
- ・勉強させてもらうという謙虚な姿勢と企業の役に立ちたいという強い志（ただし無理はしない）

②実践編

- ・業界動向や外部環境、対象企業に関する情報を 1 週間で徹底的に調べ尽くす
- ・自分の役割分の完成だけを考えない。診断ニーズと課題をきっちりとらえて企業の成長を優先する
- ・ノートパソコンは必須。iPad だけは NG
- ・Microsoft Office の Word、Excel は必須。一定のスキルも必須
- ・Dropbox などのクラウド環境は必須。先に登録を済ませておく
- ・ネット接続環境は必須。一人以上モバイルルーターをもっていれば OK
- ・知識ではなく知恵を使い、実現可能な提案をする
- ・リーダーを率先してやってみる！
- ・真摯に楽しく！

（３）実務補習診断事例

①酒のスーパー

②温泉旅館

③ペットトリミングサービス業

④寿司店

⑤家電小売店

⑥塗装業

⑦その他

以上